

# ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2010年9月

## ISO/TC61(プラスチック)/SC12(熱硬化性材料)、SC13(複合材及び強化繊維)分野の最近の動向

### 1. ISO/TC61/SC12の構成

ISO/TC61/SC12は、熱硬化性材料関係の規格の制定・改正等を担当する。

幹事国は、日本で日本プラスチック工業連盟が国際幹事を2004年より受諾している。議長も日本(末松征比古氏:天昇電気工業株式会社)が受諾している。Pメンバー(投票権有す)は、18カ国で昨年より2カ国(南ア、エジプト)増加した。Oメンバー(オブザーバ)は、エジプトがPメンバーに移行したため13カ国と昨年より1カ国減少した。表1のように四つのWG(作業グループ)が活動している。

WGのコンビナーは、WG1及びWG2は空席、WG5はエポキシ樹脂技術協会の事務局長、栗田邦夫氏が、WG6はDr.Thomas.Conti(USA)が務めている。

表1 TC61/SC12のWG

WG	コンビナー	タイトル
WG 1	空席	熱硬化性樹脂成形材料
WG 2	空席	フェノール樹脂
WG 5	日本	エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂
WG 6	USA	ウレタン原料

### 2. ISO/TC61/SC13の構成

ISO/TC61/SC13は、繊維強化材料及び強化繊維・織物関係の規格の制定・改正等を担当する。

幹事国は、日本で日本プラスチック工業連盟が国際幹事を2006年より受諾している。議長も日本(石川隆司氏:独立行政法人宇宙航空研究開発機構)が受諾している。

Pメンバー(投票権有す)は、16カ国で昨年より1カ国(南ア)増加した。Oメンバー(オブザーバ)は、14カ国と昨年と同様である。表2のように二つのWG(作業グループ)が活動している。

表2-ISO/TC61/SC13のWG

WG	コンビナー	タイトル
WG 1	日本	強化繊維及び製品
WG 2	イギリス	複合材料

WGのコンビナーは、WG1は池崎公裕氏(三菱レイヨン株式会社)、WG2はDr. Graham Sims(英国)が務めている。

第59回ISO/TC61年次国際会議は、タイのバンコックで開催され同会議で審議する予定である国際規格の制定・改正状況をWG(作業グループ)別に、日本提案を主に記述する(規格の名称は簡略して示す)。

### 3. ISO/TC61/SC12 の審議事項

#### (1) WG1 及び WG2

Systematic Review で 6 規格が見直し投票され、すべて確認された。

#### (2) WG5(エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂)

a) ISO 18280:2005 改正(エポキシ樹脂試験法)及び ISO/CD14322(エポキシ樹脂硬化度)制定が日本提案で改正・制定中であるが、ISO 18280 は近々発行の予定であり、2008 年の Systematic Review で日本が提案(対応 JIS と整合化する。)し、CD14322 は CD 投票を終えそのコメントを、バンコック会議で審議する。

b) ISO 4901:1985(不飽和 PET の残留スチレン量の求め方)の改正をオランダが提案し改正中(DIS)である。

c) 2010 年 Systematic Review で 6 規格が見直し投票され、ISO3673-2(エポキシ樹脂)の改正を日本が提案し、バンコック会議で審議する。

#### (3) WG6(ポリウレタン原料)

ISO 15063:2004(ポリウレタン用ポリオール全アミン量)及び ISO 14898:1999(酸度の求め方)の改正を日本提案で行っている。前者は FDIS 投票準備中で、後者は追補で改正中であり、その進捗をバンコック会議で確認・審議する。

### 4. ISO/TC61/SC13 の審議事項

#### (1) WG1

##### a) 改正中規格(全て日本提案)

ISO 2558:1974(ガラス織物スチレン溶解時間)

ISO 3343:1984(ガラス織物ねじれバランス指数)

ISO 3598:1986(ガラス織物糸仕様)

ISO 4602:1997(織物一糸数)

ISO 4603:1993(織物一厚さ)

ISO 8516:1987(加工糸一仕様)

いずれも DIS 又は FDIS から改正中でその進捗をバンコック会議で確認・審議する(ISO4603 は追補で改正)。

##### b) 制定中規格(日本提案)

ISO/CD13931(炭素繊維体積固有抵抗)の投票結果についてバンコック会議で審議する。

##### c) 2010 年 Systematic Review

14 規格が見直し投票され、日本から 8 規格の改正をバンコック会議で提案する。

#### (2) WG2

##### a) 改正中規格

ISO 1268-4:2005(FRP 試験板プリプレグ)

ISO 10352:1997(FRP 単位質量)

ISO 14125:1998(FRP 曲げ特性)

ISO 15310:1999(面内せん断弾性率)以上の規格を DIS 又は FDIS から(一部追補で)改正中で、その進捗をバンコック会議で確認・審議する。

##### b) 制定中規格

日本提案で ISO/CD12817 (CFRP 有孔圧縮強度) を制定中で投票結果をバンコック会議で審議する。  
その他英国提案で次の 2 件を審議する予定である。

ISO/CD12815 (CFRP プレインピンベアリング)、ISO/WD15114 (FRP モード II タフネス)

以上